

## 【閉会】

高橋博子（たかはし・ひろこ／奈良大学教授）

**Peter Kuznick**（ピーター・カズニック／アメリカン大学教授）

逐次通訳：Meri Joyce（メリ・ジョイス／ピースボートスタッフ）

高橋博子：

ありがとうございます。今日のタイトルが「核時代における平和と民主主義：日米の市民はウクライナ戦争から何を学び取るべきか」、これがタイトルなのですけれども、まさしくこの問いに答えるような素晴らしい講演をしていただきました。

本当にありがとうございます。素晴らしい通訳してくれたメリ・ジョイスさんにも大変感謝したいと思います。皆さん、ミュートにしなくて済む人はミュートをはずして拍手をどうぞよろしくお願いいたします。

Peter Kuznick：

Let me thank Takahara-san, Tokumasu-san, Inagaki-san, Takahashi-san, and especially Meri for doing all those difficult, difficult translating. I greatly appreciate all this effort. Thank you.

（日本語翻訳）

本日は、関係者の皆様、高原先生、徳増先生、稲垣先生、高橋先生、そしてとりわけ難しい、難しい通訳を全てしてくださったジョイスにお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

高橋：

それでは、最後に主催者を代表して、阿部浩己・明治学院大学国際平和研究所所長より閉会の挨拶をいたしますので、よろしくお願いいたします。

## 【共催者挨拶】

阿部浩己（あべ・こうき／PRIME 所長、明治学院大学教授）

高橋さん、どうもありがとうございます。お疲れ様でした。ピーター・カズニックさん、どうもありがとうございました。危機感満載の、実に洞察力溢れる素晴らしいお話でした。また、的確な質問を皆さんからいただき、それに対する応答も素晴らしくて、ますます理解が深まったのではないかと思います。カズニックさんのお話の中で、ロシアの進行は正当化できないけれども、意識的に挑発されたものだ、というふうにおっしゃいました。そして、意識的に挑発された具体的な様子を、克明に今日分析していただきました。

残念ながら、日本ではそうした挑発の様子については、全くメディアなどではきちんと報道されることがなく、むしろプーチンの妄想的な考え、プーチンが以下に悪魔的な振る舞いをしているかというところのみに焦点を当てた報道が積み重ねられてきています。また、アフリカやアジアの国々が、制裁に対して消極的な姿勢をとってきているということについても、必ずしも日本では広く知られていないかもしれません。今日のお話では、私たちがいかにアメリカ的な世界観、アメリカ的な世界の見方に誘導されているのかということに改めて気づかされ、そして、それを是正していく非常に重要なお話をいただいたものと思います。

1990年代と2000年代、今日カズニックさんは、アメリカの帝国主義的、そして覇権主義的な行動の様子をお話してくださいました。その間、実は国際法秩序は激しく動揺しました。特に、武力行使にかかる規範は実に緩められていくという状況になり、それが今日のロシアによる侵略をもたらしたというところもあるのかもしれません。そして、今では核兵器の使用、威嚇に関するルールも、これも弛緩、弱まっているところがあるわけです。私たちは、これをきちんともう一度立て直していく必要があると思います。日本では、核の共有の問題が議論されるようになってきていますが、国際法の観点から申し上げれば、核拡散防止条約第1条、第2条の観点から、核を日本が共有するということは国際法的に許されないということ、そして、また、台湾有事に関する議論も高まっているわけですが、日本が中国と1978年に締結した日中平和友好条約によれば、両国間では紛争は平和的に解決する、決して武力を使わないということを固く確認しているのです。こうした国際法による縛りがあるのだということについても、きちんと議論の中に組み入れて私たちはさらに議論を重ねていく必要があると思います。最後に、カズニックさんは地球的規模の、今最大級の危機に私は直面している、そして、それを解決していく政治的な指導者がいないというようなこともお話しされました。故に平和運動が大切なのだということでもありますけれども、これを言い換えれば、多くの政治指導者が戦争の準備をしている今、私たちは平和の準備をきちんとしなければならぬ、そういう思いを新たにいたしました。非常に重要なお話を今日カズニックさんからいただき、私たちも平和運動の意義を再確認できたと思います。

どうもありがとうございました。そして、高橋さんもどうもありがとうございました。皆さん、どうも今日はお付き合いいただき、ありがとうございました。また引き続きこうしたテーマで研究会がありましたら、ご参集いただければと思います。

高原孝生：

阿部先生、ありがとうございます。平和を望むなら平和に備えよという格言を引用していただいて、私どもの難しい課題に改めて立ち向かう、その姿勢を私どもで共有したいと思います。あらためて、私が今マイクを持つべきではなかったかもしれませんが、今後さらに2回この市民講座を続けていきたいと思いますので、Please stay tunedと言いますか、今後のアナウンスをご期待いただければと思います。今日はカズニック先生、そして高橋さん、阿部さん、今お顔が見えている徳増先生、稲垣さん、皆さん本当にありがとうございました。メリさん、素晴らしかったです。またよろしくお願ひします。今日は本当にありがとうございました。

(校正：高橋博子)